

# 生物学に基づいた 英語運用力養成クラス

[平成 28 年度前期]

理学博士・教育学博士(数学・第二言語習得論)、TOEFL・  
TOEIC 満点で、アメリカ生活 20 年の講師が、

主観・好み・願望に基づく俗説ではなく、観察と測定に基づいた近代科学の  
示唆する大人の英語学習の本質と、効果・効率追求型の学習戦略を解説し、  
実際の訓練を毎回行います。ヒト科ヒト属の動物の能力ですから、生物学や  
脳科学が根幹にある正しいアプローチが必要なのは当たり前です。

## 発話力が牽引する英語総合力の養成

発話（日本人の TOEFL Speaking スコアは単独世界最低）を中心に、自力本願で英語の総  
合的運用力を目指します。ただし、いかに方法論が正しくても、留学に必要な TOEFL 100  
点には 3, 4 年、ネイティブ並みの英語力の達成には 10 年かつ 1 万時間の訓練が必要です。  
90 分で 10 年・1 万時間分の学習戦略を詳述する第一回への出席が参加の絶対条件です。

（単位が必要な方は全学共通科目『科学記事で英語の四技能を高める』を受講して下さい。）

コースタイトル：Science Today, Science Tomorrow （4 月 11, 12 日開始：初回出席要）

講師：青谷正妥（あおたにまさやす） レベルは月曜（上級）・火曜（中級）で同一ではありません。

月曜 5 限 16:30-18:00、日本語・日本文化教育センター KUINEP 講義室

火曜 5 限 16:30-18:00、日本語・日本文化教育センター KUINEP 講義室

（関連講義：全学共通科目『英語勉強力』 参考図書：『英語学習論』）

日本語・日本文化教育センターでは、留学生と一緒に英語で学ぶ KUINEP 講義に加え、英語力をつけた  
い学生のためのサービスコースも提供しています。国際的な環境で学んでみませんか？

京都大学の学生（正規生、非正規生、留学生も含む）なら、誰でも受講できますが、正規の授業科目で  
はありませんので、単位は取得できません。単位が必要な方は全学共通科目『科学記事で英語の四技能  
を高める』を受講して下さい。単位無しで受講を希望する方は日本語・日本文化教育センターの HP よ  
り受講届をダウンロードして、所属学部が国際教育交流課に 4 月 7 日までに提出してください。

<http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/japanese/japanese-classes/>